
日本図書館文化史研究会

ニューズレター

第 96 号 2006 年 5 月 23 日

日本図書館文化史研究会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jalih/index.html>

〒101-8301 千代田区神田駿河台 1-1

明治大学司書・司書教諭課程

郵便振替口座 00170-5-164973

(事務局)

小黒浩司

■■ 目 次 ■■

日本図書館文化史研究会 2006 年度第 1 回研究例会のご案内	2
『資料集：公共図書館の多文化サービス：その歩み—1988 年前後を中心に』 発行のお知らせ（深井耀子）	3
日本図書館文化史研究会 2006 年度研究集会のご案内	4
日本図書館文化史研究会 2006 年度研究集会個人発表募集のお知らせ	5
日本図書館文化史研究会 2005 年度第 3 回研究例会発表要旨	6
『ニューズレター』原稿募集のお知らせ	
運営委員会通信	7
事務局だより	8
会費納入のお願い	
会員名簿作成にご協力ください	
会員動向	

日本図書館文化史研究会
2006 年度第 1 回研究例会案内

2006 年度第 1 回の研究例会を、下記のように開催します。是非ともご参加ください。

記

- 日 時 7 月 1 日 (土) 14 時～16 時
- 場 所 明治大学 アカデミーコモン 8 階 司書・司書教諭課程室
※ アカデミーコモンの位置、交通等は別紙掲載の地図をご参照ください。
- 参加費 無料
- 申込方法 参加ご希望の方は、本研究会事務局まで、郵便、ファックス、または電子メールでお申込ください。
- 申込締切 6 月 25 日 (必着) でお申し込みします。

【発表 1】

- 発表者

鈴木 宏宗 (国立国会図書館)

- 発表題名

帝国図書館長松本喜一について

- 発表要旨

松本喜一は第二代帝国図書館長である。彼は大正 12 年から昭和 20 年までその職にあったものの、図書館史ではその活動については否定的にふれられていることはあるがほとんど描かれていない。本発表では、不十分ではあるが、図書館界における松本喜一の軌跡を辿ってみたい。具体的には、大正 10 年の松本の図書館界への登場以降の活動について、帝国図書館長への就任問題、帝国図書館長としての活動、図書館界における活動をスケッチする予定である。

なお、『図書館人物伝 (仮称)』の中間報告である。

【発表 2】

- 発表者

坂内 夏子 (早稲田大学)

○ 発表題名

近代日本社会教育における図書館の位置づけ—乗杉嘉壽と川本宇之介に注目して—

○ 発表要旨

これまでの社会教育史研究において、図書館を思想善導の機関と捉える一方で、自発的な人間を形成する機関という見方が示されてきた。この二つの相反する図書館像をいかに結び合わせ得るかについて考察することが本発表の目的である。

図書館は当然社会状況から自由ではなく、文部省をはじめとする行政組織の意向のもとに思想善導、検閲、選書などを行ったのであるが、その過程において社会教育論の積極的な理論化が進んだ。それと連動しながら乗杉は文部省に図書館員養成所を設立し、川本もそれに参画して講師をつとめた。川本の東京市教育課に勤務した経験、また東京市政調査会からの依頼により「都市教育の研究」を発行した点から見て、彼らの図書館構想は東京市の図書館事業にも影響をおよぼしたのではないか。東京市図書館事業に関する先行研究も鑑みながら、検討する。

『資料集：公共図書館の多文化サービス：
その歩み—1988年前後を中心に』発行のお知らせ

下記資料集を発行しました。

『資料集：公共図書館の多文化サービス：その歩み—1988年前後を中心に』
(多文化サービス・ネットワーク発行 2006年1月)

わずかに 20 年前なのにはるか昔のように感じるようになったこの時期に IFLA 大会などで配布され、そのまま誰の目にもふれないまま消え行く資料などをあつめました。最も貴重なのはあの森耕一先生のご遺言的（最後の時期に書いていただいた原稿という意味ですが）な原稿です。入院中に私がお願いして書いていただいたもので知られていません。

ご希望のかたは 80 円切手を 10 枚お願いします（送料プラス・カンパ）です。日本で活躍を開始した「ビルマ難民図書館」へのカンパ集めのために作成した資料集ですのでよろしくお願いします。カンパなので 800 円分以上いただくのはうれしいです。

深井耀子（椋山女学園大学）

日本図書館文化史研究会
2006 年度研究集会のご案内

2006 年度日本図書館文化史研究会研究集会・総会を、下記のように開催することになりました。今年度の研究集会では、「もり・きよしー生誕 100 年ー」と題したシンポジウムを開催します。多くの方の参加を期待します。

なお、個人発表の内容など詳細につきましては、ニューズレター次号でお知らせします。また個人発表の内容などが決定次第、研究会のウェブサイトに掲載します。

記

- 日 程 : 2006 年 9 月 9 日 (土)・10 日 (日)
- 会 場 : 甲南大学 2 号館 2-11 講義室
神戸市東灘区岡本 8-9-1
- 交 通 : JR 神戸線・摂津本山駅、または阪急神戸線・岡本駅下車、
各徒歩 10 分
<http://www.konan-u.ac.jp/>
- 参 加 費 : 2,000 円
懇親会参加費 5,000 円
- 申込方法 : 次の事項を明記して、下記まで電子メール、ファックス、
または葉書でお申し込みください。
氏名 (ふりがな)
所属
懇親会参加の有無
- 申 込 先 : 〒321-3295 宇都宮市竹下町 908
作新学院大学 司書・司書教諭課程 小黒 浩司
電子メール :
ファックス : 028(670)3671
- 申込締切 : 2006 年 8 月 31 日 (必着)

○ プログラム

第1日 : 9月9日(土)

13:00 受付開始

13:30-16:45 シンポジウム

- テーマ : もり・きよしー生誕 100年—
- 報告者 : 石塚 栄二
石山 洋
宮内美智子 (東京医療保健大学)
- 司会 : 志保田 務 (桃山学院大学)

17:00-19:00 懇親会 (参加費 5,000 円)

- 会場 : 甲南大学生協食堂 (甲南大学学友会館)

第2日 : 9月10日(日)

10:00-15:00 個人発表 4件

15:15-17:00 会員総会・運営委員会

○ 9・10日ともに、学内の食堂等は休業日となっていますので、ご注意ください。

**日本図書館文化史研究会
2006年度研究集会個人発表募集のお知らせ**

上記研究集会・第2日(9月10日)での個人発表を希望される方は、次の各項を明記して、別記事務局までお申し込みください。

発表時間は質疑応答を含めて1件1時間程度を予定しています。

- 氏名(所属)
- 連絡先(住所、電話、メールアドレス等)
- 発表題目
- 発表要旨(200字程度)

日本図書館文化史研究会
2005年度第3回研究例会報告

2月25日、2005年度第3回研究例会が、明治大学司書・司書教諭課程室を会場に開催されました。参加者は15名でした。

【発表1】

○ 発表者

井谷 泰彦（明治大学大学院博士後期課程 桐朋学園男子部図書館）

○ 発表題名

奄美の図書館長 島尾敏雄

○ 発表要旨

島尾敏雄には20年間にもわたる奄美大島名瀬市での図書館長（鹿児島県立図書館奄美分館）としての、図書館人としての顔がある。発表では、作家としての島尾と図書館業務との関わりを視野に入れつつ、貴重な郷土資料の収集、図書館を舞台にした奄美郷土研究会の活動、僻地や離島への図書館サービスの強化といった特徴的な図書館長としての姿を論じた。また、奄美博物館図書室や奄美琉米文化会館といった奄美分館固有の「前史」を明らかにして、本土復帰後にも続いたその米国文化政策との独特の関係が持つ意味を問題にした。

【発表2】

○ 発表者

三浦 太郎（東京大学大学院教育研究科）

○ 発表題名

バーネットと戦後占領期日本の図書館

○ 発表要旨

バーネットは昭和21（1946）年に東京C I E図書館長に就任し、翌年から昭和24（1949）年まで第2代図書館担当官を務めた。本発表では、彼が戦後占領期日本で行った事柄について、C I E文書など一次資料に基づき考察した。彼の責務はALAの意図に沿っており、とりわけ、図書館使節への援助や、図書館学教育の振興に力点を置いていた。また、学校図書館運動の促進、図書館法制定への関与など、その活動は多岐にわたっていたと言える。しかし、C I E教育課内部で図書館担当官の発言力は必ずしも大きくなかったことから、その活動は一定の制約を受けざるをえなかった。初代図書館担当官キーニーが独自の図書館再建案を提示したのとは対照的に、彼は主にALAが日本の図書館発展にとって課題とした事柄を実務的に扱うことに専念したと評価できる。

運営委員会通信

■ ■ 次回運営委員会について ■ ■

次回運営委員会を、下記のように開催します。本研究会の運営に興味・関心のある方は、是非ともご参加ください。

当日ご都合の悪い方は、別記事務局まで郵便、ファックス、または電子メールで、ご意見、ご希望等をお寄せいただければ、運営委員会で検討いたします。

記

- 日 時 7月1日(土) 16時～17時30分
- 場 所 明治大学 アカデミーコモン8階 司書・司書教諭課程室
- 内 容
 1. 2006年度事業計画・予算について
 2. 2005年度決算について
 3. 2006年度研究集会・総会について
 4. 25周年記念事業について
 5. 日本図書館文化史研究会規約の改正について

ほか

■ ■ 前回運営委員会の報告 ■ ■

実施日：2006年2月25日

場所：明治大学 アカデミーコモン8階 司書・司書教諭課程室

以下のような事項について、協議しました。

1. 2005年度研究集会・第2回研究例会会計報告について
2. 2005年度決算について
3. 2006年度事業計画・予算について
4. 『ニューズレター』第95号について
5. 機関誌『図書館文化史研究』第23号
6. 25周年記念事業『図書館人物伝(仮称)』について
7. 2006年度研究集会について
8. 2006年度第1回研究例会について
9. 日本図書館文化史研究会規約の改正について
10. 川崎良孝氏からの転載許可願い
11. 野口論文のテキストデータ提供について
12. 会員動向
13. 次回運営委員会について
14. 『ニューズレター』第96号について

事務局だより

■■ 会費納入のお願い ■■

2006年度会費の納入をお願いします。会費は3,000円です。会費を納めていただく方には、封筒に「会費振替用紙在中」の朱印を捺し、振替用紙を同封しました。

なお、日本郵政公社の窓口扱いの口座送金手数料が70円から100円に値上げされました。ATM扱いは60円据え置きです。つきましては、会費の送金は極力ATMをご利用くださるようお願い申し上げます。

■■ 会員名簿作成にご協力ください ■■

名簿作成のための調査用紙を同封しました。皆さまのご協力をお願いします。

・
・

・
・

・
・